

JGAP がきっかけとなり、新しい人と人の出会い、新しい農産物の流通、新しい農業ビジネスモデルの構築が各地で始まっています。「JGAP、そしてその先へ」をテーマに、最前線をお伝えしていきます。

JGAP とは……

JGAP とは、食の安全や環境保全に取り組む農業に与えられる認証です。JGAP は、農場や JA 等の生産者団体が活用する農場・団体管理の基準であり、認証制度です。農林水産省が導入を推奨する農業生産工程管理手法の 1 つです。

J G A P T O P I C S

JGAPトピックス

第3回 GAP 普及大賞が決定

今年で 3 回目となる GAP 普及大賞では、今年一年間で最も GAP の普及に貢献した取り組み事例を表彰する。7 月 26 日に東京大学弥生講堂で開催された「GAP Japan 2013」で表彰式が行われた。

生産者連携による GAP 普及

【受賞事例】 産地形成における GAP 利用のさきがけ
【受賞者】 JA 東予園芸とゼスプリゴールド部会
【受賞理由】 生産者の平均年齢が 70 代と高齢化の進む産地で、2008 年から GAP の普及に取り組み、ゼスプリゴールドキウイの産地形成と品質管理体制を構築した。説明会やアンケート調査、勉強会を各地で繰り返し、マニュアルや帳票類を作成し、2010 年に JGAP 団体認証も取得している。ひとつのブランドの商品を生産する、複数の産地（他地域の JA 等）での品質管理体制を統一するために GAP を有効に利用した先行事例であることを評価した。

農業生産者による GAP 普及

【受賞事例】 GAP 実践の深化と新規就農支援
【受賞者】 かさい農産
【受賞理由】 施設野菜を中心に生産する中で、生協 GAP、JGAP、グローバル GAP と種類の異なる GAP を実践している。豊富な経験をもとに GAP 講習等を農業生産者対象に行っているなど、GAP の取り組みを生産者の立場から普及している点が評価された。また、毎年新規就農者を 2～3 人採用し人材育成しており、独立した新規就農者と JGAP 団体認証を取得していくことも計画している。裾野が広がる GAP 普及の取り組みも評価された。

教育機関による GAP 普及

【受賞事例】 GAP 普及に向けた教育プログラムの開発
【受賞者】 宮崎大学農学部
【受賞理由】 正式なカリキュラムとして GAP に関する教育と GAP 指導者育成を実施している。付属農場は 2011 年に JGAP 認証を取得し、学生の実習を通じた GAP の実践学習の場が整っている。学生は授業の中で GAP 指導者としての学習しており、2012 年には 37 名の学生が JGAP 指導員の資格も取得した。周辺一般の農業関係者を対象とした GAP 現地研修なども行い地域社会に貢献していることも評価した。



ゼスプリゴールド部会 越智 宏司氏

有限会社かさい農産 葛西 信昭氏

宮崎大学農学部 国武 久登氏

東京都より「仮認定 NPO 法人」として認可される

日本 GAP 協会は、東京都より「仮認定 NPO 法人」として認可された。（仮）認定 NPO 法人とは、NPO 法人のうち、より高い税制優遇を適用するために所轄庁に「客観的な基準において、高い公益性をもっている」と判定された法人。東京都の NPO 法人 9,381 団体中、認定・仮認定 NPO 法人はわずか 42 団体しかない。この認定により、日本 GAP 協会に寄付をすると寄付者は「所得税・法人税が還付される」という税制優遇が受けられることになる。

「JGAP 取組宣言」の制度がスタート 認証に向けた第一歩を踏み出しやすく

農場・団体が JGAP の取り組みを開始してから認証を得るまでにかかる期間は様々だが、大きな生産者団体では 1 年以上かかることもある。JGAP 取組宣言は、JGAP 認証にはまだ至っていないが基準書を参考に農場管理の改善に取り組み始めた農場・団体を識別・評価・応援する制度である。JGAP 認証取得を目指す農場・団体は任意で JGAP 取組宣言の制度を利用することができる（無料）。JGAP 取組宣言を行った農場は日本 GAP 協会の HP に公開される。

日本農業法人協会が JGAP 指導員研修機関として認定される

（公社）日本農業法人協会が新たに JGAP 指導員研修機関として認定された。日本農業法人協会の会員数は 2013 年 7 月現在、全国で 1,770 法人に上がる。今後は、全国各地で自ら JGAP を学び導入する農業者が増えていくことが期待される。あわせて、農業法人は仲間の農場の GAP 導入を支援し、GAP を学んだ新規就農者を育てる組織としての役割も注目されている。GAP 普及にとって、優秀な指導者を大量に確保することは重要なことである。

鈴木 貴博

Yoshihiro Suzuki
株式会社鈴生
代表取締役社長

楽しく農業をやりたい
しかし事故が起きれば「楽しい」は実現しない

GAP の話題はどうしても食品安全になる。
しかし GAP の三本柱は食品安全・環境保全・労働安全である。
約 40 年間、毎年、約 400 名が農作業中の事故で亡くなっている大きな問題。
どのように解決していくのか。

7月26日に開催された「GAP Japan 2013」トークセッションでの
(株)鈴生代表取締役社長鈴木貴博氏の講演を収録した。



株式会社鈴生静岡県静岡市、代表：鈴木貴博（37）、
平成20年12月2日設立、事業内容：野菜生産、
青果物卸売
主な出荷先：外食・小売産業者各社への契約出荷。
栽培作物：枝豆、レタス類、ミニ白菜
生産地域：静岡市、焼津市、藤枝市、菊川市、
袋井市、磐田市、他

【論 点】 農業現場の労働事故を減らすためには、どうすべきか？

当社は、楽しく農業をやりたい、という方針を持っています。しかし事故が起きれば、「楽しい」は実現できません。JGAPの労働安全の管理点に対する取り組みでもあり、当社では労働事故を減らすため、さまざまな工夫・対策を行っています。

機械への設備投資

対策のひとつが、機械への設備投資です。現在、多数の市町村に様々な条件の圃場があるため、大型機械の移動を頻繁に行いますが、路上での転倒事故を避けるため、公道の移動は全てキャリアカーを使用しています。また転倒時ははさまれ防止で、トラクターは全部キャビン付きにしました。それと単純なことですが、乗った人が再確認するように、事故防止の注意点を車内の目につくところに貼ってあります。

機械は故障しても、自分達では直さず、整備士のところに出すのが当社のルールです。全部の機械を2台所有して、片方を出した時はもう片方を稼働させることで、作業が止まるリスクを回避します。機械の保管も直してくれる会社に任せますし、車も壊れないように1年に1回は車検に出しています。

また整備は機械だけでなく、圃場にも及びます。急傾斜の耕作放棄地は、業者を入れて瓦礫を撤去し、可能なかぎり平坦にしました。

意識を高めるリスク検討会

そして事故を防ぐためには、当事者の意識向上も欠かせません。こまめに開いているのが、リスク検討会です。圃場、作業の状況を挙げて、ここは入口が狭いから気を使おうとか、壁の間を30センチ保とうとか、

討論しながら「この圃場はこういう風に注意すれば事故は起こらない」と検討していきます。また新規就農者が多いので、各分野の専門家を呼び、機械講習会や社内勉強会も定期的に行なっています。

一方で組織とマニュアルの整備も進めています。事故が起きた時の連絡先を明確にする目的で、担当業務の責任者をはっきりさせ、よりきびしい心持ちで取り組めるように資格の取得を推奨しています。大型特殊免許は従業員全員が取得する方針で、毒劇物取扱販・販売やフォークリフトや重機、その他簡単な免許でも意識向上のため取らせるように心がけています。

親睦を深め絆を強く

また失敗を回避するためには、確固たるチームワークも必要です。そこで当社では野球チームを作ったり、釣りに行ったり、スーツを着て圃場ミーティングを開いたり、親睦を深めながら絆を強くすることを意識しています。

【取り組み】

緻密なリスク管理とチームワーク。このふたつをもって安全を担保し、事故をなくせるよう頑張っていきたい。



圃場リスク検討の一例。a～hに振り分けてそれぞれのようなリスクが考えられるかを検討する。

今月の新規会員ご紹介

株式会社日立ソリューションズ東日本（宮城県仙台市・システムエンジニアリングサービス等） <http://www.hitachi-solutions-east.co.jp/>
橋本ファーム（熊本県八代郡氷川町・農業生産者）
チクマ農園（長野県佐久市・農業生産者） <http://www.avis.ne.jp/~chikuma/intro.htm>
農業生産法人株式会社エムアールシー（沖縄県那覇市・農業生産者）
有限会社佐野ファーム（静岡県周智郡森町・農業生産者） <http://www.sano-farm.com/kaisha-gaiyo.html>
日本認証サービス株式会社（神奈川県横浜市・食品分析、分析試薬販売等） <http://www.pure-foods.co.jp/>
株式会社元気もりもり山森農園（神奈川県三浦市・農業生産者） <http://www.farm-yamamori.com/>
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター（宮崎県都城市） <http://www.naro.affrc.go.jp/>
株式会社日本環境認証機構（東京都港区・環境マネジメントシステムに関する審査の受託等） <http://www.jaco.co.jp/index.htm>

寄付者のご紹介

田口税理士事務所 田口 哲也様